令和6年度 十和田市教育委員会 第12回定例会議事録

(公開分)

- 1 日 時 令和7年3月18日(火) 開会 午後14時30分
閉会 午後15時21分
- 2 場 所 十和田市役所 別館4階会議室
- 3 出席委員 丸井英子教育長、斗沢一雄委員、深瀬郁子委員、
小笠原拓司委員、坂本稔委員
- 4 説明員 浦田教育部長、乗田教育総務課長、江渡指導課長、
坂下スポーツ・生涯学習課長、畑山図書館長
- 5 事務局 教育総務課 櫻田課長補佐 松橋係長
- 6 会議録署名委員 深瀬郁子委員、坂本稔委員
- 7 記録者 教育総務課 松橋係長

・・・・開会・・・・

○教育長 それでは会議を始めます。

○教育長 出席委員は定足数に達していますので、定例会は成立しました。

これより、令和6年度第12回定例会を開会します。

会議録署名委員は、深瀬委員と坂本委員にお願いします。

定例会の会期は、本日1日とします。

○教育長 議事に入る前に、議案第24号「十和田市教育委員会事務局職員の人事異動の実施について」は、人事に関する内容であることから、非公開とすることが適切であると思われま。

したがいまして、議案第24号は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書きの規定により、非公開にしたいと思いますが、これにご異議あり

ませんか。

○委員 「異議なし」

○教育長 ご異議ないものと認めます。よって、議案第 24 号は、非公開とします。

○教育長 それでは、議案その 1 を審議します。

○報告第 21 号 寄附の受納について

○教育長 報告第 21 号の報告理由を、事務局からお願いします。

○教育部長 **報告第 21 号 寄附の受納について**

寄附の受納について、子ども夢チャレンジ基金積立金として、風張 靖子 様から現金 1,000,000 円の寄附採納願いが出され、令和 7 年 2 月 20 日にこれを受納したことを、報告するものです。

以上であります。

○教育長 ただ今の説明に関しまして、ご質問、ご意見等ありませんか。

○委員 「なし」

○教育長 以上で、報告第 21 号は報告済みとします。

議案第 22 号 十和田市民文化センターの敷地における転倒事故に係る和解及び損害賠償の額の決定について

○教育長 報告第 22 号の報告理由を、事務局からお願いします。

○教育部長 **報告第 22 号 十和田市民文化センターの敷地における転倒事故に係る和解及び損害賠償の額の決定について**

令和 6 年 11 月 6 日午後 8 時 30 分頃、十和田市民文化センターの敷地において、駐車場に向かう通路を歩行中につまずいて転倒し、通路上に置かれていたコンクリートブロックに腹部を強打したことにより負傷した関口恭子氏に対し、市はその損害額の 20 パーセントを支払うものであり、令和 7 年 2 月 12 日に市長において専決処分により和解し、損害賠償の額を決定したことを報告するものであります。

なお、本専決処分については、市長において市議会第1回定例会に報告しております。

以上であります。

○教育長 ただ今の説明に関しまして、ご質問、ご意見等ありませんか。

○深瀬委員 どのような怪我だったのですか。

○スポーツ・生涯学習課長 肋骨の骨折です。

○教育長 あとはございませんか。

○委員 「なし」

○教育長 以上で、報告第22号は報告済みとします。

○教育長 次に、議案第18号を審議します。

議案第18号 十和田市教育委員会事務局の組織及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について

○教育長 議案第18号の提案理由を、事務局からお願いします。

○教育部長 議案第18号 十和田市教育委員会事務局の組織及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について

このほどの改正につきましては、組織の再編、事務分掌の見直しに伴い、規則の整備を行うものです。

改正の内容としましては、国スポ・障スポ大会準備室を総務部に移管することに伴う削除、市史編さん室の設置、教育総務課の分掌事務を整理をしたのもです。

ご審議をお願いいたします。

○教育長 ただ今の説明に関しまして、ご質問、ご意見等ありませんか。

○委員 「なし」

○教育長 議案第18号について、提案どおり決することに、ご異議ありませんか。

○委員 「異議なし」

○教育長 ご異議なしと認め、議案第 18 号は提案どおり決定することとします。

○教育長 次に、議案第 19 号を審議します。

議案第 19 号 十和田市教育委員会職員服務規則の一部を改正する規則の制定について

○教育長 議案第 19 号の提案理由を、事務局からお願いします。

○教育部長 議案第 19 号 十和田市教育委員会職員服務規則の一部を改正する規則の制定について

このほどの改正につきましては、常に胸部に付ける名札について、様式を変更し、所属名、職名及び苗字のみ表記することとしたため、改正を行うものです。

改正の内容としましては、「氏名」を「氏」に改めるものでございます。

ご審議をお願いいたします。

○教育長 ただ今の説明に関しまして、ご質問、ご意見等ありませんか。

○委員 「なし」

○教育長 議案第 19 号について、提案どおり決することにご異議ありませんか。

○委員 「意義なし」

○教育長 ご異議なしと認め、議案第 19 号は提案どおり決定することとします。

○教育長 議案第 20 号及び議案第 21 号は関連がありますので一括審議いたします。

議案第 20 号 十和田市立学校学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の解嘱について

議案第 21 号 十和田市立学校学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について

○教育長 議案第 20 号及び議案第 21 号の提案理由を、事務局からお願いします。

○教育部長 議案第 20 号 十和田市立学校 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の解

嘱について

このたびの解嘱は、十和田市立高清水小学校の閉校にともなう学校医、学校眼科医、学校耳鼻科医、学校歯科医及び学校薬剤師各 1 名、本人から辞退届が提出された学校医、学校歯科医及び学校薬剤師各 1 名、学校眼科医の増員にともなう担当変更となる学校医 2 名をそれぞれ令和 7 年 3 月 31 日をもって解嘱するものです。

続いて、議案第 21 号につきまして、ご説明いたします。

議案第 21 号 十和田市立学校 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の解嘱について

このたびの委嘱は、学校医の解嘱にともなう欠員を補充するため、学校医 2 名、学校眼科医 2 名、学校歯科医及び学校薬剤師各 1 名をそれぞれ令和 7 年 4 月 1 日に委嘱するためのものです。

ご審議をお願いいたします。

○**教育長** ただ今の説明に関しまして、ご質問、ご意見等ありませんか。

○**委員** 「なし」

○**教育長** 議案第 20 号及び議案第 21 号について、提案どおり決することにご異議ありませんか。

○**委員** 「意義なし」

○**教育長** ご異議なしと認め、議案第 20 号及び議案第 21 号は提案どおり決定することとします。

○**教育長** 次に議案その 2 を審議します。

議案第 22 号 十和田市立小中学校適正規模及び適正配置に関する基本方針の策定について

○**教育長** 議案第 22 号の提案理由を、事務局からお願いします。

○**教育部長** 議案第 22 号 十和田市立小中学校適正規模及び適正配置に関する基本方針の策定について

この基本方針は、市立小中学校の規模や配置の適正化について基本的な考え方をま

とめたものでありまして、複式学級の解消等を検討する学校の優先度を示すものがあります。

詳細につきましては、担当課長から説明させます。

ご審議をお願いいたします。

○**教育総務課長** では、説明いたします。

今年度3回開催されました、学校適正化等懇談会については、既に当委員会で報告しておりますが、この度基本方針案について概要を説明いたします。

資料の2ページ、3ページになります。策定の趣旨ですが、二つです。少子化、複式学級、子どもが少なくなっているのと、もう一つは校舎の老朽化、この二つを基準にして話し合いを進めました。

学校適正規模配置の基本的な考え方が三つあります。①が教育環境の充実、②通学距離と通学時間の配慮、③地域特性への配慮ということで、次のページ、3ページになります。

適正規模配置の優先度をまとめました。これは、ぱっと見ると優先度が高いほうをどんどん統合していくというふうに見えるのですが、これは、検討を開始する学校の優先度です。ですので、この表の見方ですが、小学校①番を見ると、学級数の状況、それから右側、校舎の状況、ただし、学級数の状況、子どもの数が少ないほうを軸にして考えていきたいと思います、それで更には老朽化も加味していきたいと思いますという考え方は、ただし、先ほどの③地域の特性へも配慮しなければならない、例えば十和田湖小学校は子どもが少ないけれども、どこかに統合するか、スクールバスを1時間以上乗らなければならないとか、四和小学校にはあけぼの学園があります。そういった事情があるところは加味しておりません。ということで、まず小学校で検討を進めなければならないのは、深持小学校、沢田小学校、法興小学校これはすでに昨年度から地域の懇談会等を開いて進めているところです。また、ちとせ小学校については、人数は多いのですが、校舎の老朽化が著しいことから、改築で動き始めております。

②の中学校では、優先度が高いところはありません。中のところを見ていきますと、四和、切田中学校とかありますが、切田中学校については、次年度に複式が始まります。ということで考え始めなければならないこととなります。

以上となります。

○**教育長** ただ今の説明に関しまして、ご質問、ご意見等ありませんか。

○**坂本委員** 3ページの表の中にある言葉として、小規模校というのがあるのですけれども、6学級も小規模校、7～11学級も小規模校と書いてあるのですが、6～11学級は小規模校という表現でいいものなのかどうかと一点。もう一点ですけれども、学

級数が単式でとありますが、これは特別支援学級を含まないということなのかの二点
お願いします。

○**教育総務課長** 小規模校のところにつきましては、改めて確認いたします。
もう一つは、特別支援学級は入っていません。

○**小笠原委員** 基本方針を初めて作ったのですが、この先何年ぐらい見通しとして見え
ていますか。

○**教育総務課長** まず、先ほど申し上げました、基準が二つあって、複式学級のところ
は、深持、沢田、法奥とありますが、何年後というか、地域に理解を得てやらなければ
いけませんので、それにまた学校を作るとなると5年6年かかってしまいますので、
はっきりと何年とは申し上げられませんが、まずは優先度が高い順に検討していくと
いうことです。さらに老朽化のところは、ちとせから始まるのですが、次は北園小学
校、三本木小学校など、築40年を超えたところから長寿命化や統合を考えていくこ
とになります。

○**教育長** ほかにございませんか。

○**委員** 「なし」

○**教育長** 議案第22号について、提案どおり決することにご異議ありませんか。

○**委員** 「意義なし」

○**教育長** ご異議なしと認め、議案第22号は提案どおり決定することとします。

議案第23号 十和田市立中学校部活動地域連携推進計画の策定について

○**教育長** 議案第23号の提案理由を、事務局からお願いします。

○**教育部長** 議案第23号 十和田市立中学校部活動地域連携推進計画の策定について
この計画は、学校部活動の地域移行における目指す姿を明確化するとともに、円滑
な移行に向けた具体的な取組内容やスケジュールを示したものであります。
詳細につきましては、担当課長から説明させます。
ご審議をお願いいたします。

○指導課長 それでは、5ページの十和田市立中学校部活動地域連携推進計画概要版を使って説明いたしますが、その前に、これまでの流れを簡単に口頭で説明させていただきます。

まず、当教育委員会では市立中学校に令和3年度から部活動指導員を配置し、専門的指導者の確保と教職員の負担軽減を進めつつ、令和4年度より十和田市部活動地域移行検討委員会を立ち上げ、教育委員会内で協議を重ねながら、移行に向けた具体的な方向性について検討してまいりました。そして、令和5年度には取組みを一步進め、スポーツ・文化団体や学校関係者、市連合PTAなどの有識者による十和田市部活動地域移行推進協議会を年3回開催し、令和6年度には名称を十和田市部活動地域連携実行委員会に変更して、2月までに3回の会議を行い、部活動の地域移行に向けた具体的な方策の検討を進め、今回十和田市立中学校部活動地域連携推進計画（案）を策定いたしました。そして、先月2月にパブリックコメントを実施し、本日の教育委員会での上程となりました。

それでは、概要版を使って説明いたします。

まず、計画の目的です。十和田市立中学校部活動地域連携推進計画は、国のガイドラインや市内の現状を踏まえ、地域移行における目指す姿を明確化するとともに、円滑な移行に向けた具体的な取組内容やスケジュールを示すものです。市立中学校を主な対象としながら、地域クラブ活動の育成や関係団体との連携を通じて、地域全体で取り組むべき課題として位置づけています。部活動を地域と一体となって支えることで、生徒が多様な体験を通じて成長し、地域に活気が生まれる持続可能な仕組みを構築することを目指しております。

次に、1の基本方針です。①生涯にわたってスポーツ・芸術文化等の活動に親しむことができる環境を整備します。一つめです。すべての子どもが主体的に多様なスポーツ・芸術文化等の活動を選択できる。二つめ、子どもの成長を支える教育的役割を果たす活動を推進する。②多様な運営主体による持続可能な体制を構築します。一つめ、部活動の地域連携を進め、外部人材を活用する。二つめ、部活動の段階的な地域クラブ活動への移行に向け、教員等の兼職・兼業を支援する。③地域の実情に応じて段階的かつ柔軟に推進します。一つめ、休日に加え、平日の活動の可能性も検討する。二つめ、関係者から意見や助言を得ながら、柔軟に推進する。

2番、今後の取組みです。当教育委員会では、令和7年度から、実施可能な部活動について順次、保護者や地域が運営する地域クラブ活動などへ平日の部活動も含めて地域連携を目指します。

また、令和12年度から、すべての部活動を休日に行わないことを目標とし、取組を進めます。下が、地域連携の全体像となっております。

次のページ、6ページをご覧ください。3番、教育委員会及び学校の取組。まず①

として、教育委員会のこれまで又は今後の取組みです。ア、計画の推進、これは担当は指導課となります。イ、地域クラブ活動の体制整備についての実践研究、これはスポーツ・生涯学習課が担当です。新聞にも掲載されましたけれども、スポーツ教室事業ということで、これまで柔道3回、陸上競技3回実施しております。次年度はどんどん回数又は競技を広げていく予定です。ウ、地域クラブ活動との連携・支援、こちらも担当は、スポーツ・生涯学習課です。エ、部活動指導員の確保、担当は教育総務課です。オ、教師等の兼職・兼業制度の整備、これも教育総務課の担当となります。カ、共通理解を図るための情報発信、これは指導課担当となっております。

②学校の取組みです。ア、学校部活動の地域連携、イ、学校部活動に関する方針の策定等、ウ、指導・運営に係る体制の構築、エ、適切な指導の実施、オ、適切な休業日等の設定となっております。

4のスケジュールについてです。上から地域クラブ活動、そして部活動を示しております。年度を経るごとに地域クラブを広げ、部活動が減っていく様子を示しております。令和7年度ですが、可能な部活動から段階的に地域クラブ活動への地域連携を開始、そして地域クラブ活動の体制整備についての実践研究も進めてまいります。並行して部活動指導員の配置、兼職・兼業制度の整備も進めてまいります。そして、8年度、9年度、10年度と年度を経るごとに、地域クラブ活動の発足を検討している団体への情報提供や活動施設の確保への協力等、地域クラブ活動との連携・支援を進めていき、令和12年度にはすべての部活動を休日に行わないことを目標として、今後進めていきたいと思っております。

以上です。

○**教育長** ただ今の説明に関しまして、ご質問、ご意見等ありませんか。

○**坂本委員** この推進計画ですけれども、目指す方向として、現在は中学校の部活動は完全に地域に移行ではなくて、移行できるものは移行、学校でできるものはやると。教育課程の中に部活動は残るという解釈でいいのかなという確認が一つ。

もう一つが、中体連との関係について、課題とかないのかなと。実際活動していくうえで、困ったことのような話は出ていなかったのかなというのをできれば。例えば以前、競技によっては地域の人が行くのだけれども、学校の先生が来ないと中体連の活動なので必ず来てくださいという話があったりとかありましたけれども、地域のかたが行くのでもいいのかなと個人的には思うのですが、中体連との課題が見えているのであればお聞かせいただければ。

○**指導課長** 地域クラブ活動と部活動の関係ですが、全て地域クラブに移行できれば理想なのですが、現段階で十和田市の現状を考えると、各学校広いエリアに点在してお

ります。かなり時間がかかると思うのですが、そういう意味では、部活動の人数がそろっているところですか、そういうところは残っていくこともあります、やはり完全移行を目指して、学校、地域、あるいは文化・スポーツ協会等で今後進めていかなければいけないと思っております。それで、12年度はまずは休日に行わないというのを目標にしております。もちろんこれは、平日の地域クラブの連携も並行して進めていきたいと思っております。

あと、中体連に関してですが、中体連も今非常に流動的で、坂本委員の言った課題もありますし、競技によって、例えば十和田市内の中学校の合同チームだったらいいのだけれども、他市町村の生徒が入っている場合は認められないですとか、そういう意味で、中体連ももちろんですけども、ほかの大会との出場できるルールが違ったりしますので、その辺の整備も今後必要になってくると思います。

○**教育長** 今年度からクラブチームが中体連に出場できるようになりましたよね。その辺教育総務課長から情報提供をお願いします。

○**教育総務課長** 競技にもよるのですが、県大会からオーケーとか、何とか大会まではオーケーとか条件が異なっておりますが、参加は許されるという動きになっております。

○**教育長** 部活動指導員も引率は可でしたね。

○**教育総務課長** 可です。顧問として認められますので、教員がつかないで練習試合や大会は可能です。

○**指導課長** 現段階で、三本木中学校のサッカー部が4月からクラブ化して活動します。あと、合同部活動ですが、野球部で三中、東中、十和田中、甲東、第一、ここが人数を調整しながら4月から活動することになっております。一步一步状況に合わせて進んでいるのは確実です。

○**教育長** 小学校でもスポーツ少年団が学校から独立して、保護者が育成会として運営するまでになるまでは、結構な年数がかかりました。さらに中学校の場合は、中体連の問題もありますし、年数がかかったり、指導も専門性の高いものになっていくものですから、指導できる方が地域の中にいらっしゃるかとすると、そのところは難しかったり、また発達段階から思春期の子ども達の指導は難しいというご意見もあって辞められる方もいるものですから、指導課長も言うように一步一步前進しているのですが、なかなか大変だなというのは正直あります。

○**教育長** ほかにございませんか。

○**小笠原委員** 地域移行になった時、例えば吹奏楽は楽器が高額なものがいっぱいあると思うんですけど、そういうのは学校の備品になったりしているのじゃないかと思うのですが、地域移行していった場合に、そういう動産を移管するものなのかどうか、若しくは移管しないで貸すという話になるのか、あとは補充とか、そういうのは今後ありそうだなと思ひまして。その辺は誰が整理しているのでしょうか。学校の費用で買っているのですかね。

○**教育長** 例えば、北小だと周年事業として100万円位の吹奏楽の楽器を寄附したりですね、中学校の場合は。

○**教育総務課長** 学校の予算で揃えています。

○**小笠原委員** 移行した時に、個人で買ってねは厳しい話だなと思ひまして。

○**教育部長** まだ私たちの考えが至らないところのご指摘だと考えております。この地域移行につきまして、懇談会を数回開いた中で、まずはスポーツのほうを先に検討としておりました。文化については、今やっと議論が始まったところでありますので、今日いただいたご意見をもしかしたら学校から一度掘出していただいて、それを使いあうというアイデアもあるのかどうかということで、意見として受け取りたいと思ひます。

○**指導課長** 文化部活動は基本的に土日に活動していないという状況ですので、まずは部長が仰ったとおり、スポーツを優先して検討を進めていこうという流れになっております。

○**斗沢委員** 教職員の軽減を図るという意味ではすごくいいなと思ひて、感心しておりました。ぜひ前進してほしいのですが、ある保護者から、学校の部活だと今までは怪我したりしたら保険は出るのだけれども、地域移行した場合については、どうなんだろうという話があったのですけれども、その辺のところはまだ話になっていませんか。

○**指導課長** 今は学校が入っている保険で対応しておりますけれども、地域移行になるとそれが適用外になりますので、そのあたりの保険というのは、クラブで入るのですとか、そのあたりは課題になると思ひます。

○**教育総務課長** 三本木附属中学校の時に移行を段階的にやっていたのですが、保護者が何百円かの保険を掛けてやるという形をとっていました。

○**教育長** 「ほかにございませんか。」

○**委員** 「なし」

○**教育長** 議案第 23 号について、提案どおり決することにご異議ありませんか。

○**委員** 「意義なし」

○**教育長** ご異議なしと認め、議案第 23 号は提案どおり決定することとします。

○**教育長** 次に議案その 3 を審議します。

報告第 23 号 県費負担教職員の人事異動の内申について

○**教育長** 報告第 23 号の報告理由を、事務局からお願いします。

○**教育部長** **報告第 23 号 県費負担教職員の人事異動の内申について**

県費負担教職員の人事異動の内申について、十和田市立小中学校の校長及び教頭以外の教職員について、ご報告いたします。

まず最初に、資料の 2 ページ 3 ページに記載しております退職についてご報告いたします。令和 7 年 3 月 31 日付けで退職する教職員は 19 名、行政採用により退職する教職員は 2 名であります。

次に 4 ページに記載しております、令和 7 年 4 月 1 日付けで新規採用となる教職員は 9 名、昇格する教職員は 3 名であります。

次に、5 ページから 12 ページに記載してあります転任等の人事異動についてご説明いたします。

令和 7 年 3 月 31 日付けで再任用期間満了のため退職する教職員は小学校で 2 名、管内他校等へ転任のため退職する教職員は小学校で 13 名、中学校で 19 名であります。また、4 月 1 日付けで転任する教職員は小学校で 8 名、中学校 3 名であります。また、管内他校等から採用となる教職員は小学校 14 名、中学校 12 名となっております。

以上、県費負担教職員の人事異動につきましては、十和田市教育委員会の事務の委任等に関する規則第3条の規定により教育長の専決で、令和7年3月3日付けで青森県教育委員会に内申したことをご報告いたします。

以上でございます。

○**教育長** ただ今の説明に関しまして、ご質問、ご意見等ありませんか。

○**委員** 「なし」

○**教育長** 以上で、報告第23号は報告済みとします。

○**教育長** 議案第24号は非公開としますので、傍聴者の皆様は、ご退席をお願いするところでございますが、いらっしゃいませんのでそのまま続けます。

(中略)

○**教育長** これをもちまして、第12回定例会を閉会します。

・・・・・・閉 会・・・・・・